

第5学年2組 算数科学習指導案

日時	5月15日(水)第5校時	授業者		場所	5年2組教室
単元名	小数のわり算				
児童の実態	単純な計算をしたり、本時学習したことを使って練習問題を解くことはできるが、既習の考え方をを使って考えたり、筋道立てて説明したりすることができる子が非常に少ない。また、考えをノートに書くことができても、挙手をして発表できる子が少ない。				
研究内容について	2 -	数直線を使って、何を求めているかを明確にして説明したり、かけ算との違いを明確にして説明したりすることができるようにする。			
	3 -	自分の考えたことを筋道立てて説明をしたり、仲間の意見に関わって話したりすることができるようにする。			
本時のねらい	整数÷帯小数の計算のしかたを、既習の除法(除数が整数の除法)の計算のしかたに帰着させて考えることができる。				
人権教育の観点	各々の考え方を認め合い、温かい雰囲気の中で学習することは、相手への共感的理解を深めることにつながる。(自己啓発力)				

本時の展開(2/14)

時間	過程	ねらい	学習活動	指導・援助 評価規準
0	つかむ	<p>問題の内容をとらえることができる。</p> <p>本時の課題をつかみ、見通しをもつことができる。</p>	<p>1. 前時の問題場面を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> リボン2.4mの代金は96円です。このリボン1mのねだんはいくらでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・式は、$96 \div 2.4$ 2. 課題をつかむ。 <div style="border: 3px double black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 整数÷小数の計算のしかたを考えよう。 </div> ・数直線を使って考える。 ・式で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に立式を行っているため、問題場面と式の確認をする。 ・わる数が小数であることが新しい学習であることを確認し、かけ算と同じように、わる数を整数にして考えれば計算できることを明確にする。
7	考えをもつ	<p>数量関係を数直線に表し、答えを見つげるための手がかりとする。</p> <p>既習の学習が使えるように、小数を整数にすればよいことに気付くことができる。</p>	<p>3. 自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <0.1mの代金から、1mのねだんを求める> <div style="margin: 5px 0;"> $0.096 \div 24 \quad \longleftarrow \quad \boxed{\div 24} \quad 96 \quad (\text{円})$ </div> <div style="margin: 5px 0;"> $0.01 \quad 1 \quad \boxed{\times 24} \quad 2.4 \quad (\text{m})$ </div> <p>0.1mの代金は、$96 \div 24$で求められる。 1mのねだんは、0.1mの代金の10倍だから $96 \div 2.4 = 96 \div 24 \times 10$ $= 40$ 答え 40円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <2.4mの代金から、1mのねだんを求める> <div style="margin: 5px 0;"> $0.96 \quad \boxed{\times 10} \quad 96 \times 10 \quad (\text{円})$ </div> <div style="margin: 5px 0;"> $0.1 \quad 2.4 \quad \boxed{\times 10} \quad 24 \quad (\text{m})$ </div> <p>2.4mの代金は、96×10 1mのねだんは、2.4mの代金を24でわればよいから、$96 \div 2.4 = 96 \times 10 \div 24$ $= 960 \div 24$ $= 40$ 答え 40円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <式で> $96 \div 2.4 =$ <div style="margin: 5px 0;"> $10 \text{倍} \downarrow \quad 10 \text{倍} \downarrow \quad \uparrow \text{同じ}$ $960 \div 24 = 40$ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算と同じように、10倍して答えを1/10にして考えている児童には、$960 \div 24$または、$96 \div 24$が何を求めている式かを数直線をもとに考えさせる。 ・「さんが言ったことを式で表すと～」 「さんが使った式は、～を求めている」など仲間の考えにつなげて発言するように助言する。 ・かけ算は、かけられる数とかける数を10倍すれば答えは100倍になるから、100でわったことと比較して、わるる数とわる数それぞれ10倍したら答えはそのままであることを確認する。
17	深める		<p>4. 全体交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わる数の小数を10倍して整数にすれば、今までと同じように計算できる。 <p>5. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 整数÷小数のわり算は、小数を整数にして計算すればよい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習問題ができたら、本時のふり返りをノートに書く。除数が帯小数の除法の計算のしかたを、小数のしくみや計算のきまりなどをもとに考える。
32	確かにする	練習問題で、本時の学習の理解を深める。	<p>6. 練習問題に取り組む。</p> <p>P31鉛筆問題</p>	<p><数学的な考え方></p>
35				

5年 4.小数のわり算(全14時間) 単元指導計画

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準
整数÷小数	1 イ	・除数が帯小数の場合でも除法の式に表すことができることを、数直線やことばの式などを用いて理解する。	1. 問題を理解する。 リボン2.4mの代金が96円です。このリボン1mのねだんはいくらでしょう。 ・1mのねだんを求める式は $96 \div 2.4$ になりそうだ。 2. 課題をつかむ。 1mのねだんを求める式が、 $96 \div 2.4$ でよいか考えよう。 3. 自分の考えをもつ。 ・数直線で考える。 ・言葉の式にあてはめて考える。 4. 考えを交流する。 5. まとめる。 リボンの長さが小数でも、1mのねだんを求めるには、整数と同じようにわり算を使う。	<数学的な考え方> 帯小数でわることの意味を数直線やことばの式などを用いて考えることができる。
	2 イ	・整数÷帯小数の計算のしかたを既習の除法の計算のしかたに帰着させて考えることができる。	1. 問題場面を確認する。 リボン2.4mの代金が96円です。このリボン1mのねだんはいくらでしょう。 ・式は、 $96 \div 2.4$ だ。 2. 課題をつかむ。 整数÷小数の計算のしかたを考えよう。 3. 自分なりの考えをもつ。 ・0.1mの代金を求めてから考える。 ・24mの代金を求めてから考える。 4. 考えを交流する。 5. まとめる。 整数÷小数のわり算は、小数を整数にして、計算すればよい。 6. 確かめる。 (ぐんぐん) 確認問題を行い、テープ図や数直線を使い、計算方法を分かりやすく説明ができるようにする。 (じっくり) 確認問題を行う。 7. 振り返る。	<関心・意欲・態度> ・整数÷小数の計算に意欲をもつことができる。 <数学的な考え方> ・除数が小数のわり算を、整数のわり算に帰着させて考えることができる。
	3 イ	・除数が1より小さい小数の場合でも、除数の式に表してよいことを理解し、その計算方法を理解することができる。	1. 問題を理解する。 リボン0.8mの代金が48円でした。リボン1mのねだんはいくらでしょう。 ・既習の問題との違いを考える。 ・問題をテープ図や数直線を用いて表す。 ・根拠を明確にして立式する。 2. 課題をつかむ。 $48 \div 0.8$ のような計算の仕方を考えよう。 3. 自分なりの考えをもつ。 ・0.1mの代金を求めてから考える ・8mの代金を求めてから考える。 4. 考えを交流する。 5. まとめる。 わる数を10倍したら、わられる数も10倍して計算すればよい。 6. 確かめる。 (ぐんぐん) 練習問題を行い、数直線を使い、説明ができるようにする、 (じっくり) 練習問題を解く。	<数学的な考え方> ・商は、被除数よりも大きくなるということを考えることができる。 <知識・理解> ・除数が1より小さい小数の場合でも、除数の式に表してよいことが分かる。

<p style="text-align: center;">整数 ÷ 小数</p>	<p style="text-align: center;">4 イ</p>	<p>・整数÷小数の計算をするには、整数÷整数の筆算をもとに考えればよいことに気付き、除数が小数の場合の筆算を行うことができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>3.2mの鉄のぼうの重さをはかったら、16kgでした。この鉄のぼう1mの重さは何kgでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明らかにして、立式する。 ・既習の学習をもとに、整数×小数の除法になおす方法で商を出す。 </div> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>$16 \div 3.2$ のようなわり算の計算のしかたを考えよう。</p> </div> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数÷整数の筆算をもとに考える。 ・小数点の位置を考える。 ・既習の計算方法をもとに、わる数を10倍したら、わられる数も10倍して考える。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>わる数を10倍したら、わられる数も10倍して計算すれば、整数÷整数の筆算と同じになり、計算することができる。</p> </div> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、正しく速くできるようにする。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、定着をはかる。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 振り返る。</p>	<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、正しく速くできるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、定着をはかる。 	<p>< 数学的な考え方 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数÷整数の筆算の手順と同じと考えることができる。 <p>< 知識・理解 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数÷小数の筆算の仕方が分かる。
<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、正しく速くできるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、定着をはかる。 					
<p style="text-align: center;">小数 ÷ 小数</p>	<p style="text-align: center;">5 ア</p>	<p>・小数÷小数の計算をするには、整数÷整数の計算をもとに考えればよいことに気付き、小数÷小数の計算をすることができる。</p>	<p>1. 問題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1.2mの鉄のパイプの重さをはかったら、8.4kgでした。この鉄のパイプ1mの重さは、何kgでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数直線に表し、立式する。 </div> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>$8.4 \div 1.2$ のようなわり算の計算のしかたを考えよう。</p> </div> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数÷小数の場合を想起して考える。 ・除数と被除数をそれぞれ10倍にして整数にして考える。 ・筆算の仕方を考える。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>わる数を10倍したら、わられる数も10倍して、整数のわり算にして計算するとよい</p> </div> <p>6. 確かめる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして正しく速くできるようにする。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、定着をはかる。 </td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 振り返る</p>	<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして正しく速くできるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、定着をはかる。 	<p>< 技能 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数÷小数の計算ができる。 <p>< 知識・理解 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数÷小数の筆算の仕方が分かる。
<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして正しく速くできるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算練習をして、定着をはかる。 					

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準				
小数÷小数	6 ア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数÷小数のわり進みのある筆算の仕方を理解し小数でわる筆算のしかたをまとめることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4.32 ÷ 1.8 の計算の仕方を考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を明確にして立式する。 2. 課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4.32 ÷ 1.8 のような小数のわり算のしかたを考えよう。</div> 3. 自分なりの考えを持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ わり算の性質を利用して筆算で計算する。 4. 考えを交流する。 5. まとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わる数、わられる数ともに10倍してから小数÷整数のわり進みと同じように計算するとよい。</div> 6. 確かめる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(ぐんぐん)</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(じっくり)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・ 練習問題に取り組み、正しく速くできるようにする。</td> <td style="padding: 2px;">・ 練習問題に取り組み、定着をはかる。</td> </tr> </table> 7. 振り返る。 	(ぐんぐん)	(じっくり)	・ 練習問題に取り組み、正しく速くできるようにする。	・ 練習問題に取り組み、定着をはかる。	<p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数÷小数の筆算を小数点をうつ桁数に気を付けて、正しく計算している。
(ぐんぐん)	(じっくり)							
・ 練習問題に取り組み、正しく速くできるようにする。	・ 練習問題に取り組み、定着をはかる。							
商の大きさ	7 イ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数÷小数の場合の、商と被乗数との大小関係をまとめることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1.2mの重さが7.2gのはり金と0.8mの重さが7.2gのはり金があります。それぞれの1mの重さを求めて7.2と比べましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数量の関係を数直線に表し、立式する。 2. 課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">商とわられる数との大小関係を調べよう。</div> 3. 自分なりの考えをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆算で計算して、答えを求め。 ・ 答えを数直線で表し、比べてみる。 ・ 商とわられる数との大小関係を調べる。 4. 考えを交流する。 5. まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わる数が1より大きいときは、商はわられる数より小さくなり、わる数が1より小さいときは、商はわられる数より大きくなる。</div> 6. 確かめる。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(ぐんぐん)</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">(じっくり)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・ 練習問題を行い定着をはかったり、自分で問題を作ったりして、決まりを確かめる。</td> <td style="padding: 2px;">・ 練習問題を行い、定着をはかる。</td> </tr> </table> 7. 振り返る。 	(ぐんぐん)	(じっくり)	・ 練習問題を行い定着をはかったり、自分で問題を作ったりして、決まりを確かめる。	・ 練習問題を行い、定着をはかる。	<p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除数の大きさによる商と被除数との大きさの関係が分かる。
(ぐんぐん)	(じっくり)							
・ 練習問題を行い定着をはかったり、自分で問題を作ったりして、決まりを確かめる。	・ 練習問題を行い、定着をはかる。							

わり進みのあるわり算	8 ア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形の横の長さを求める算数的活動を通して、小数÷小数の計算でわり進みのある計算の仕方が分かり、計算することができる。 	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>縦の長さが1.5cm、面積が6.3cm²の長方形の横の長さを求めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面積÷たての長さをすれば、横が求められる。 ・ 商が一の位だけではない。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>商が一の位だけではないわり算の計算のしかたを考えよう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆算で計算する。 ・ 整数÷整数の時と同じようにわり進む。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる</p> <p>わり進みのある計算は、整数と同じようにわり進んで計算すればよい。</p> <p>6. 確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習問題をする。 <p>7. 振り返る。</p>	<p>< 技能 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数÷小数のわり進みのある計算ができる。 				
わり進みの計算とあまりのあるわり算	9 ア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小数でわる除法で、あまりの意味と大きさを理解し、商とあまりを求めることができる。 	<p>1. 問題を理解する。</p> <p>6.3mのひもを、1.5mずつ切ってアクセサリをつくりまます。1.5mのひもは何本切りとれるでしょう。また、何mあまるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題から商は整数であることを明らかにする。 <p>2. 課題をつかむ</p> <p>あまりのある小数のわり算の計算の仕方を考えよう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆算で計算して、答えを求める。 ・ 図に表して、あまりの小数点がどこにつくのかを考える。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうつ。</p> <p>6. 確かめる。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">(ぐんぐん)</td> <td style="text-align: center;">(じっくり)</td> </tr> <tr> <td>・ 練習問題を行い定着をはかったり、発展問題に取り組む。</td> <td>・ 練習問題を行い、定着をはかる。</td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	(ぐんぐん)	(じっくり)	・ 練習問題を行い定着をはかったり、発展問題に取り組む。	・ 練習問題を行い、定着をはかる。	<p>< 数学的な考え方 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あまりを単位として考えた数のいくつ分と考える。 <p>< 技能 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あまりのある小数のわり算の計算ができる。
(ぐんぐん)	(じっくり)							
・ 練習問題を行い定着をはかったり、発展問題に取り組む。	・ 練習問題を行い、定着をはかる。							
小数倍のかけ算とわり算	10 ア	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある数量を小数倍した大きさを求めるときには、小数の乗法が適用されることを理解する。 	<p>1. 課題をつかむ。</p> <p>赤いテープの長さは2.5mで、緑のテープの長さは、赤いテープの長さの2.4倍です。また、ピンクのテープの長さは、赤いテープの長さの0.6倍です。緑とピンクのテープの長さはそれぞれ何mでしょう。</p> <p>2. 課題をつかむ。</p> <p>何倍になるのか、小数の計算で求めよう。</p> <p>3. 自分なりの考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数直線をもとにして、立式する。 ・ 筆算で計算して答えを求める。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <p>数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。</p>	<p>< 技能 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何倍かが小数倍で基準量を求める乗法の式表示ができる。 <p>< 知識・理解 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数倍にあたる大きさを求めるときに、小数の乗法が適用されることがわかる。 				

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準		
小数倍のかけ算・わり算	1 1 ア	<ul style="list-style-type: none"> ある数量を小数倍した大きさを求めるときには、小数の乗法が適用されることを理解する。 	<p>1. 問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">赤いテープの長さは2.5mで、緑のテープの長さは、赤いテープの長さの2.4倍です。また、ピンクのテープの長さは、赤いテープの長さの0.6倍です。緑とピンクのテープの長さはそれぞれ何mでしょう。</div> <p>数直線をもとに立式する。</p> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">何倍になるのか、小数の計算で求めよう。</div> <p>3. 自分なりの考えを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数直線をもとにして、立式する。 筆算で計算して答えを求める。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。</div> <p>6. 確かめる。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-left: 1px solid black;"> <p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 </td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 	<p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 何倍かが小数倍で基準量を求める乗法の式表示ができる。 <p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 小数倍にあたる大きさを求めるときに、小数の乗法が適用されることがわかる。
<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 					
	1 2 イ	<ul style="list-style-type: none"> もとになるテープの何倍かを考える算数的な活動を通して、「小数をかける計算」の単元の小単元の学習を想起し、小数倍を用いて解くことができる 	<p>1. 問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">次のような4本のテープがあります白、赤・黄のテープの長さは、それぞれ赤のテープの長さの何倍でしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 長さの倍の関係を数直線で表す。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">何倍になるのか、小数の計算で求めよう。</div> <p>3. 自分なりの考えを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数直線をもとにして、立式する。 筆算で計算して答えを求める。 <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。</div> <p>6. 確かめる。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-left: 1px solid black;"> <p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 </td> </tr> </table> <p>7. 振り返る。</p>	<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 	<p><数学的な考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を数直線に表して立式の根拠を説明する。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 何倍かが小数倍で基準量を求める除法の式表示ができる。 <p><知識・理解></p> <ul style="list-style-type: none"> 除数(基準量、倍)が小数の場合の除法の意味が分かる。
<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 					

小単元	時	本時のねらい	主な学習活動	評価規準		
小数 倍の かけ 算と わり 算	13 ア	<ul style="list-style-type: none"> 倍を表す小数の時、基準量を求めるのに小数の除法が適用されることを理解する。 	<p>1. 問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> けんじさんの家から駅までの道のりは、2.8kmです。これは、家からバス停までの道のりの3.5倍です。家からバス停までの道のりは何kmでしょう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 数直線をもとに立式する。 <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 何kmか、小数の計算で求めよう。 </div> <p>3. 自分なりの考えを持つ。 数直線をもとにして、立式する。 ・筆算で計算して答えを求める。</p> <p>4. 考えを交流する。</p> <p>5. まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。 </div> <p>6. 確かめる。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; border-left: 1px solid black;"> <p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 </td> </tr> </table> <p>振り返る。</p>	<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 	<p>< 数学的な考え方 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を数直線に表して立式の根拠を説明する。 <p>< 技能 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法から除法の式を導くことができる。 <p>< 知識・理解 ></p> <ul style="list-style-type: none"> もとにする量を求めるときに、小数の除法が適用されることがわかる。
<p>(ぐんぐん)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題に取り組み、なぜそのような式になるを説明することができるようにする。 	<p>(じっくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習問題を行い、定着をはかる。 					
練習	14 ア	<ul style="list-style-type: none"> 小数でわる計算についての理解を深めることができる。 	<p>1. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 小数÷小数の問題を練習して、速く正しく計算ができるようにしよう。 </div> <p>じっくりコース</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習してきたことを繰り返し練習し、基礎的・基本的な内容を身につける。 <p>ぐんぐんコース</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習してきたことをもとにして、正確に速く計算ができたり、応用的な問題を解いたりして、習熟をはかる。 	<p>< 技能 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 小数÷小数についての問題を解くことができる。 		

時 (まとめの言葉)	ぐんぐんコース	
	じっくりコース	
<p>1 リボンの長さが小数でも、1mのねだんを求めるには、整数と同じようにわり算を使う。</p>		
<p>2 整数÷小数のわり算は、小数を整数にして、計算すればよい。</p>	<p>P 3 1</p> <p>1 リボン 1.2m の代金が 60 円でした。このリボン 1m のねだんはいくらでしょう。</p>  <p>2 米 1.6kg の代金が 928 円でした。この米 1kg のねだんはいくらでしょう。</p>	<p>P 1 6</p>
<p>3 わる数を 10 倍したら、わられる数も 10 倍して計算すればよい。</p>	<p>P 3 2</p> <p>3 (1) $9 \div 0.2$ (2) $27 \div 0.5$ (3) $69 \div 0.3$ (4) $72 \div 0.4$</p>	<p>P 1 2 1</p> <p>3 (1) $6 \div 0.3$ (2) $8 \div 0.4$ (3) $21 \div 0.6$ (4) $84 \div 0.2$ (5) $54 \div 0.4$ (6) $81 \div 0.3$</p>
<p>4 わる数を 10 倍したら、わられる数も 10 倍して計算すれば、整数÷整数の筆算と同じになり、計算することができる。</p>	<p>P 3 3</p> <p>4 (1) $17 \div 3.4$ (2) $42 \div 1.5$ (3) $84 \div 3.5$ (4) $52 \div 0.4$ (5) $60 \div 0.8$ (6) $96 \div 0.3$</p>	<p>P 1 2 1</p> <p>4 (1) $19 \div 3.8$ (2) $68 \div 8.5$ (3) $55 \div 2.5$ (4) $93 \div 6.2$ (5) $90 \div 3.6$ (6) $72 \div 0.6$ (7) $30 \div 0.4$ (8) $71 \div 0.5$ (9) $46 \div 0.2$</p>
<p>5 わる数を 10 倍したら、わられる数も 10 倍して、整数のわり算にして計算するとよい。</p>	<p>P 3 5</p> <p>1 (1) $9.6 \div 3.2$ (2) $3.2 \div 0.4$ (3) $44.8 \div 2.8$ (4) $20.7 \div 0.3$</p>	<p>P 1 2 2</p> <p>4 (1) $9.4 \div 4.7$ (2) $8.5 \div 1.7$ (3) $2.4 \div 0.8$ (4) $75.4 \div 2.6$ (5) $99.6 \div 8.3$ (6) $22.8 \div 0.4$</p>
<p>6 わる数、わられる数ともに 10 倍してから小数÷整数のわり進みと同じように計算するとよい。</p>	<p>P 3 6</p> <p>2 (1) $7.56 \div 4.2$ (2) $36.18 \div 5.4$ (3) $7.44 \div 0.4$ (4) $7.881 \div 2.13$ (5) $9.984 \div 3.84$ (6) $16.82 \div 0.29$</p> <p>3 2.6m の線をひくのに、ペンキを 5.98L 使いました。線を 1m ひくのに使ったペンキは何Lでしょう。</p> 	<p>P 1 2 2</p> <p>2 (1) $8.64 \div 3.6$ (2) $55.61 \div 8.3$ (3) $32.83 \div 6.7$ (4) $9.72 \div 0.6$ (5) $0.92 \div 0.4$ (6) $6.594 \div 3.14$ (7) $7.854 \div 4.62$ (8) $8.892 \div 2.34$ (9) $96.33 \div 5.07$</p>

<p>7 わる数が1より大きいときは、商はわられる数より小さくなり、わる数が1より小さいときは、商はわられる数より大きくなる。</p>	<p>P 3 7</p> <p>1 □にあてはまる不等号を書きましょう。</p> <p>(1) $2.8 \div 1.4$ □ 2.8 (2) $5.4 \div 0.9$ □ 5.4</p>	<p>P 1 8 ~ 1 9</p>
<p>8 わり進みのある計算は、整数と同じようにわり進んで計算すればよい。</p>	<p>P 3 8</p> <p>1 わりきれのまで計算しましょう。</p> <p>(1) $18.2 \div 5.2$ (2) $10.5 \div 0.4$ (3) $160.3 \div 3.5$ (4) $8.4 \div 3.36$ (5) $7 \div 2.8$ (6) $45 \div 7.2$ (7) $1.9 \div 7.6$ (8) $0.3 \div 0.4$</p>	<p>P 1 2 2</p> <p>1 わりきれのまで計算しましょう。</p> <p>(1) $14.5 \div 5.8$ (2) $14.2 \div 0.8$ (3) $11.52 \div 4.5$ (4) $4.9 \div 1.25$ (5) $9 \div 3.6$ (6) $24 \div 6.4$ (7) $5.1 \div 6.8$ (8) $4.8 \div 7.5$ (9) $0.1 \div 0.4$</p>
<p>9 あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうつ。</p>	<p>P 4 0</p> <p>2 商を $\frac{1}{10}$ の位まで求めて、あまりもだしましょう。</p> <p>(1) $5.2 \div 0.7$ (2) $8.6 \div 3.4$ (3) $4.8 \div 0.74$ (4) $0.56 \div 2.3$</p>	<p>P 2 0</p>
<p>10 数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。</p>	<p>P 4 1</p> <p>1 横の長さがたての長さの1.5倍の、長方形の形をした花だんをつくりまます。</p> <p>たての長さを3mにすると、横の長さは何mになるでしょう。また、花だんの面積は何m^2になるでしょう。</p>	<p>P 1 2 2</p> <p>1 商を4倍5入して、$\frac{1}{10}$の位まで求めましょう。</p> <p>(1) $2.2 \div 0.9$ (2) $9.7 \div 6.1$ (3) $37.6 \div 2.6$ (4) $0.93 \div 0.32$ (5) $1.37 \div 0.15$ (6) $0.724 \div 0.63$</p>
<p>11 数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。</p>	<p>P 4 3</p> <p>2 2L 入るペットボトルと 0.5L 入るペットボトルがあります。2L は 0.5L の何倍でしょう。また、0.5L は 2L の何倍でしょう。</p>	<p>P 2 1</p>
<p>12 数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。</p>	<p>P 4 4</p> <p>3 ある日のスーパーの買い物客の数は 468 人です。これは、前の日の 1.2 倍です。前の日の客の数は何人でしょう。</p>  <p>4 南町の面積は 12.3km^2 です。これは、北町の面積の 0.4 倍です。北町の面積は何km^2 でしょう。</p>	<p>P 2 1</p>
<p>13 数直線に表して、数量と倍の関係をはっきりさせ、計算するとよい。</p>	<p>P 4 5 練習</p>	
<p>14</p>	<p>P 4 6 基本の確かめ</p>	